



令和5年度学校評価(幼稚園評価)ゆめプラン

園名 雑賀崎幼稚園

今年度のプランと概要

生き生き遊ぶ子供を育む

“ゆめ” スローガン

豊かな学びや触れ合いが生まれる環境・保育者の援助とは

“ゆめ” 実現のための
3つの目標

主体的な学びが
生まれる 保育の実現
(モノとの関わりを
通して)

豊かなかかわりが
生まれる 保育の実現
(ヒトとの関わりを
通して)

すこやかな生活に
つながる 保育の実現
(コトとの関わりを
通して)

目標達成のための取組

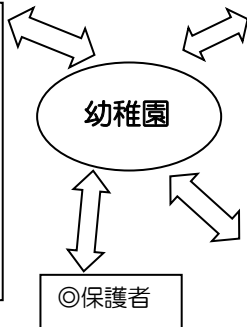
様々な感情体験 が生まれる自然 環境の工夫	身近な環境への興味や関心が高まるよう、どのようなモノが必要であるか考え、環境構成を工夫する。
言葉の豊かさ につながる環境 の工夫	思いを伝える意欲を高めたり、語彙を増やしたり言葉の豊かさにつなげていくには、どのような体験が必要か考え、保育を組み立てたり、環境構成を工夫したりする。
様々な発想が 生まれる環境 の工夫	感じたことを自由に表現できるようにするには、どのようなモノが必要か、また、子供の興味の在りどころを探り、どのような援助や環境構成が必要か考え実践する。

異年齢のかか わりの充実	日頃の生活の中で、他の学年同士が親しみをもってかかわれるよう保育者同士の連携を図り、子供の育ちを共有し、保育に活用する。
幼小交流の 充実	隣接する小学校との交流を通して、小学校への期待をもったり、園外の友達とかかわったりする楽しさが味わえるようにする。 (生活をとおした幼小交流、教育課程の実践と再検証) 互いに現職教育や研究保育(授業)に入り、幼小学びの接続の重要性の理解と実践を進める。
地域の人々 のかかわりの 充実	身近なヒトとかかわる中で、優しさや愛情にふれ安心感を味わい、ヒトとの関わり方や話し方などを学んだり、地域の雰囲気を感じたりすることができるような機会にする。

自尊心を育む	一人一人が愛されているという安心の中で、自己発揮できる喜びや心地良さが味わえるよう、教職員間での情報の共有や連携を密に行い、いろいろな視点でかかわる。
保護者との 連携	子育て相談や子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てができるよう支援する。(専門機関との連携) 園教育の理解が深まるよう、日々の対話、懇談会の充実、園便りクラス便りの充実を図る。

実施体制 (連携機関も含めて図で示してください)

- ◎地域の施設・自然
- ・雑賀崎小学校
- ・特別養護老人ホーム
- ・漁港・灯台・
- ・沖見の里・レモンの丘
- ・浪早ビーチ・灘の浜
- ・番所庭園 ・水軒公園



- ◎地域の人
- ・漁師さん・茶道講師
- ・近所の方・見守り隊

- ◎各種関係機関
- ・教育委員会
- ・保健所
- ・子ども総合支援センター
- ・療育機関(愛徳、カナの家等)

◎保護者

支援要請

- ・和歌山県教育委員会
- ・和歌山市教育委員会
- ・和歌山市保健所
- ・こども総合支援センター
- ・療育施設